

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年 2年 3年
教科等名		作業学習		グループ名	食品加工
ねらい		・社会参加を意識し、就労に必要な、挨拶、返事、報告、質問の仕方を身に付けることができる。 ・食品に関する安全管理、衛生管理について、基礎的な知識や能力を身に付けることができる。 ・作業内容を理解し、協力し合い、主体的に焼き菓子の製造ができる。			
担当教員		○高柳 彩子 木村 克久 手塚 秀紀 小林 加奈子			
予定授業時数		普通学級 1年:175 2年:280/322 3年:272/322 重度・重複学級 1年:175 2年:181/223 3年:173/223			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	・オリエンテーション ・働く力を身に付けよう ・安全と衛生について ・焼き菓子製造	○	・基本的コミュニケーション ・衛生面を意識した身だしなみ ・食品を扱う上での安全、衛生管理の方法 ・焼き菓子の基礎的な製造工程 ・洗浄、掃除の手順 ・注文された数量の焼き菓子製造・納品	・挨拶、返事、報告、連絡について、姿勢、適切な声の大きさ、相手の方を見るなど基本的な事柄を身に付けることができる。 ・衛生面を意識し、白衣と帽子を着用し、粘着テープでほこりを取り、作業を行うことができる。 ・作業台を整理整頓してして、製造作業ができる。 ・細菌への知識を増やし、衛生面に対する高い意識をもつことができる。 ・指示書を活用し、焼き菓子の製造、洗浄、掃除、販売準備の手順を理解できる。 ・指示を受けた作業に責任をもち、取り組むことができる。	・一日の作業内容を提示し、見通しをもち作業に取り組むことができるようにする。 ・挨拶、返事、報告の仕方は繰り返し練習することで定着できるようにする。 ・班体制を組み、報告、連絡、相談の具体的方法を説明し、コミュニケーションをとる機会を設定する。 ・タブレット端末で、カビや菌の繁殖の様子などを調べ、衛生的で安全な作業への意識を高める。 ・教室内の環境を整備し、道具を決められた場所に整理整頓できるようにする。 ・製造時に関する指示書を作成し指示通りの作業をするを習慣化する。 ・タブレット端末で焼き菓子の出来上がりの写真を撮影・記録し、品質の向上について考えることができるようにする。 ・焼き菓子の種類は4グループに分け、生徒の実態に合った作業内容ができるように配慮する。
9 10 11 12	・働く力を身に付けよう ・安全と衛生について ・焼き菓子製造 ・学習発表会に向けて	○	・挨拶、報告、連絡、相談 ・衛生面を意識した身だしなみ ・食品を扱う上での安全、衛生管理 ・指示書通りの焼き菓子の製造 ・焼き菓子の商品開発 ・学習発表会での販売	・適切な場面で挨拶、報告、連絡、相談を行うことができる。 ・衛生的な身だしなみについて自分で確認ができる。 ・作業中の衛生面についての意識を高めることができる。 ・指示書を活用して焼き菓子の製造ができる。 ・アンケートをもとに、お客様の立場に立って商品開発を行うことができる。 ・ロールプレイを通して接客の仕方を身に付けることができる。 ・班員と進度を確認し作業を進めることができる。	・朝礼で体調を確認し、体調不良の場合は、菓子製造以外の座った姿勢での作業を行うことができるよう配慮する。 ・タブレット端末で作業の様子を撮影し、自分の姿を見ることでビジネスマナーの向上を図る。
1 2 3	・働く力を身に付けよう ・安全と衛生 ・焼き菓子製造 ・一年間のまとめ	○	・好感のもてる挨拶、返事、報告、連絡 ・衛生面を意識した作業 ・協力して、焼き菓子製造を行う。 ・個人の目標、班での目標の振り返りをする。	・就労を意識し、好感のもてる挨拶、返事、報告、相談の仕方を身に付けることができる。 ・仕事を最後まで行うための体力、体調管理について意識ができる。 ・仲間と協力し、助け合いながら作業ができる。 ・作業学習を通し、自身を振り返り、成長や達成感を味わうことができる。 ・班全体での一年間を振り返ることで、作業班としての課題を明確にすることができる。	

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	1年 2年 3年	
教科等名	作業学習		グループ名	流通サービス班	
ねらい	・作業学習に関する事柄を理解し、作業学習に関わる技能を身に付ける。 ・自己の課題を把握し、解決力、実践力、表現力を身に付ける。 ・就労や社会参加へ向け、働く態度を養う。				
担当教員	○澁谷 一成 大平 宏 萩野 美咲 高垣 淑 奈良 恵理子(火) 田宮 美貴(火AM) 高島 恵里(火PM)				
予定授業時数	普通学級 1年:175、2年:280/322、3年:280/322 重度・重複学級1年:175、2年:175/223、3年:175/223				
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通年	・事務作業をしよう	○	・事務作業で扱う道具の使用方法 ・丁合、封入等の基本的な事務作業 ・名刺作成等のパソコン入力、操作 ・販売活動に必要な準備、接客方法 ・レジの基本的な操作方法 ・販売計画の作成、集計管理 ・喫茶コーナーの広報活動、店内装飾、アンケート集計等 ・近隣大学や地域での販売活動	・安全に道具を扱うことができる。 ・作業の流れが分かり、主体的に取り組むことができる。 ・基本的なパソコン操作が分かり、製品を作成できる。 ・接客に必要な挨拶等が主体的に行うことができる。 ・レジの操作、レジでの接客方法を知ることができる。 ・計画を立て、計画に沿って作業に取り組むことができる。集計の必要性や方法を理解することができる。 ・喫茶のイメージに合ったチラシや装飾を考えることができる。 ・外部の方との触れ合いによる、言語能力の向上を図ることができる。 ・アンケート等の情報処理をする能力の向上を図ることができる。 ・地域貢献しようとする態度を身に付ける。	・マニュアル等を活用し、確認を行いながら作業ができるようにする。必要に応じて、タブレット端末で確認を行う。 ・ロールプレイをすることで接客サービスに慣れる。 ・喫茶部門と連携し、具体的な仕事内容やイメージが共有できるようにする。
	・喫茶サービスをしよう	○	・喫茶サービスで扱う道具の使用方法 ・基本的な喫茶接客サービスについて ・喫茶サービスのキッチン作業の方法 ・レジの基本的な操作方法 ・製品開発 ・身支度 ・道具の洗浄の仕方 ・掃除の仕方を覚え、衛生的な環境への意識 ・喫茶接客サービス技能検定に向けた練習 ・道具、材料の買い出し	・安全に気を付け、衛生的に道具を扱うことができる。 ・お客様にとって気持ちの良いサービスが提供できる。 ・衛生面に配慮し、ケーキやドリンクの提供ができる。 ・レジの操作、レジでの接客方法を知ることができる。 ・身支度を衛生的に整えることができる。 ・道具ごとの洗浄方法が分かり、実践できる。 ・衛生的な環境が分かり、意識して清掃を行うことができる。 ・目標とする級の取得に向け、練習に取り組むことができる。 ・材料等の購入から提供までの流れがわかる。	・ロールプレイをすることで接客サービスに慣れる。タブレット端末で自身の接客を記録し、確認を行う。 ・アンケートなどをもとに、買って食べてくれる人の立場に立ってサービスが提供できるようにする。 ・チェックシート等を活用し、衛生面を意識できるようにする。
	・働く力を身に付けよう		・身辺管理、道具の準備について ・コミュニケーションについて ・作業の技能、態度について	・作業前、休憩後等に自ら身だしなみ、道具等を整えることができる。 ・挨拶、報告、連絡、相談を自発的に行える。周りの人と協力し、作業を行うことができる。自分の担当、役割を確認して、最後まで作業に取り組むことができる。 ・指示を理解し、必要に応じて質問等を行い、作業に取り組むことができる。作業が終わった際に、次の作業を自ら尋ねることができる。	・教員が手本、見本となり、意識、態度の育成に努める。 ・朝礼に挨拶練習を取り入れ、継続的に取り組んでいく。作業時には報告、連絡、相談のタイミングを設定し、自ら行える態度を養う。 ・視覚的にも理解できるよう、マニュアルや手本、見本を見せ、指示を行う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	1年 2年 3年		
教科等名	作業学習	グループ名	ビルメンテナンス班		
ねらい	・挨拶や返事、報告、質問ができ、働く時に必要なビジネスマナーを、身に付けることができる。 ・資機材の使い方のマニュアルを学び、様々な場所に応じた清掃方法を考えることができる。 ・働くことの意味や喜びを知り、就労を意識した気持ちを持ち、主体的に清掃作業に取り組む。				
担当教員	○五十嵐 亮 榎本 一慶 正司 一貴 池原 萌 粕谷 裕之				
予定授業時数	普通学級 1年:175 2年:280/322 3年:272/322 重度・重複学級 1年:175 2年:181/223 3年:173/223				
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5	・オリエンテーション ・働く力を身に付けよう	○	・作業内容、目標、資機材の準備と使用方法、身支度の整え方 ・挨拶、報告、連絡、相談の仕方 ・清掃のルールやマナー	・1日の基本的な流れを覚える。 ・ビルメンテナンス班でのルールを知り、活動への見通しをもつことができる。 ・清掃をする際の基本的な内容について知り、実践することができる。 ・基本的な資機材の扱いを覚える。	・作業着、名札等を正しく着用できるように手本を示す。 ・資機材の使い方では、基本の動きを繰り返し練習し、資機材の安全で正しい扱い方を身に付けられるようにする。
6	・基本的な資機材の扱い方①	○	・校内の清掃 ・清掃作業を通じての挨拶、報告、連絡、相談 ・校外の清掃	・作業中の挨拶、報告等を行うことができる。 ・校内外の清掃場所を通じて、基本的な資機材の扱い方を覚える。 ・手順書を確認し、丁寧、正確に作業を行うことができる。	・検定マニュアルのDVD及び、写真や図解付きマニュアルを活用し、視覚的に覚えられるようにする。
7 9	・清掃検定に向けて①	○ ○	・各検定種目に分かれての練習 ・模擬検定 ・正しい資機材の扱いの確認	・検定表を基に、評価のポイントとなる部分を理解することができる。 ・目標とする級の取得を目指し、課題克服のための練習を意欲的に行う。 ・検定練習を通じて、正確に扱える資機材を増やしていき、課題を理解する。	・依頼があった場所や行事等と関連付け、意欲的に活動できるように校内の協力を得られるようにする。
9 10	・基本的な資機材の扱い方②	○ ○	・校内の清掃 ・清掃作業を通じての挨拶、報告、連絡、相談 ・校外の清掃	・作業中の挨拶、報告等を自らすすんで、行うことができる。 ・応用的な資機材の扱いを覚え、校内外の様々な場所を清掃できるようにする。 ・手順書を確認し、丁寧、正確に作業を行うことができる。	・学校外施設(多摩療護園等)での訪問作業を通して、状況判断力、実践力、社会性を身に付ける機会を設定する。
11 12	・依頼に応じた清掃(校内外)	○	・依頼された場所や、依頼された内容に応じた清掃	・依頼内容を確認し、教員と相談して、清掃を行うことができる。 ・依頼者への報告をすることができる。 ・作業工程を自ら考えることができる。	・生徒の実態に応じ、資機材の扱い方を教えたり、より高度な作業に取り組めたりできるように配慮する。
12 1	・清掃検定に向けて②	○ ○	・各検定種目に分かれての練習 ・模擬検定 ・正しい資機材の扱いの確認	・検定表を基に、評価のポイントとなる部分を理解することができる。 ・目標とする級の取得を目指して意欲的に練習に参加することができる。 ・検定練習を通じて、正確に扱える資機材を増やしていき、課題を理解する。	・タブレット端末で清掃の様子を撮影し、良い点や改善点を探す。
1 2 3	・現場に応じた清掃	○	・その場の状況に応じた、最適な資機材を活用しての清掃	・汚れの状況等を判断し、教員と相談する中で、最適な資機材を選択することができる。 ・清掃のルールやマナーを意識して清掃をすることができる。	・タブレット端末を使用し、作業の中間報告を行う。 ・外部専門員の助言を取り入れる。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年 2年 3年
教科等名		作業学習		グループ名	クラフト班
ねらい		・知識・技能: 手順を理解し、安全に留意して、作業に取り組む。 ・思考・判断・表現: 製品の出来高や成果を確認し、報告や連絡をする習慣を身に付ける。 ・就労や社会参加に向け、働く態度を養う。			
担当教員		○松下 暖乃 岸田 義文 奈良 恵理子 手塚 秀紀 寺田 直子			
年間授業時数		普通学級 1年:175、2年:280/322、3年:280/322 重度・重複学級1年:175、2年:175/223、3年:175/223			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・働く力を身に付けよう	○	・身辺管理、道具の準備、片付け ・挨拶、報告、連絡、相談など作業に必要なコミュニケーション ・道具の使い方、製作の進め方	・1日の基本的な流れを覚える。 ・挨拶、報告、連絡、相談を自発的に行える。周りの人と協力し、作業を行える。自分の担当、役割を確認して、最後まで作業に取り組める。 ・指示を理解し、必要に応じて質問などを行い、作業に取り組める。作業が終わった際に、次の作業を自ら尋ねることができる。	・朝礼に挨拶練習を取り入れ、継続的に取り組む。作業時には報告、連絡、相談のタイミングを設定し、自ら行える態度を養う。 ・視覚的に理解できるよう、タブレット端末で確認できるマニュアルを整える。
4	・オリエンテーション ・クラフト班の活動を知ろう	○	・目標、きまり、内容、予定 ・身だしなみ ・挨拶、報告、相談の表現	・クラフト班の活動内容等を理解することができる。 ・挨拶、報告、相談などの正しい伝達の言葉を知ることができる。 ・1日の作業工程や道具、片付けの流れを理解し、取り組むことができる。	・目標や約束事を掲示、毎時確認をする。 ・予定カード、写真などの視覚教材を活用する。 ・前年度の様子をICTを用いた視覚支援で伝える。
5 7	・作業の工程を覚えて取り組もう ・製品をつくろう ・1学期のまとめ	○	・身だしなみ ・挨拶、報告、相談などのコミュニケーション ・布製品の製作 ・時間に沿った活動 ・活動の振り返り	・身だしなみを自分で、または支援を受けながら整えることができる。 ・挨拶、返事、報告をすすんで表現することができる。 ・材料や道具を準備し、工程の手順を理解し、その作成方法を守る意識をもつ。 ・持続的に作業に取り組むことができる。 ・1学期の成果を知る、発表することができる。	・手順表、治具等を作成する。 ・製品を丁寧に作るためのポイントを具体的に示す。 ・学期の成果(作業量等)を数字や表で示す。 ・視覚的にも理解できるよう、マニュアルや手本、見本を見せ、指示を行う。
9 12	・担当する仕事に正確に取り組もう ・学習発表会に向けての製品を作ろう ・2学期のまとめ	○	・身だしなみ ・挨拶、報告、相談などのコミュニケーション ・工程の分担 ・布製品の製作 ・販売活動 ・活動の振り返り	・手順に沿って正確に作業することができる。 ・必要な準備、片付けができる。 ・一定量や一定時間、担当した仕事に取り組むことができる。 ・製品を丁寧に作るすることができる。 ・販売のマナーを守って取り組むことができる。 ・2学期の成果を知る、発表することができる。	・手順表や見本を見て確認できるように環境設定する。 ・模擬販売を行い、実際の販売場面を想定してマナー等を身に付ける。 ・視覚的にも理解できるよう、マニュアルや手本、見本を見せ、指示を行う。
1 3	・担当する仕事を自分から取り組もう ・1年間のまとめ	○	・身だしなみ ・挨拶、報告、相談などのコミュニケーション ・工程の分担 ・布製品の製作 ・活動の振り返り	・工程別の仕事を準備から片付けまで、すすんで取り組むことができる。 ・報告や確認を自分から行うことができる。 ・工具を適切な扱い、安全管理を行うことができる。 ・工程別に担当した仕事を最後まで取り組むことができる。 ・1年間の成果を知り、発表することができる。	・作業手順、安全確認等を自立して行えるよう、教材、教具を工夫する。 ・模擬販売を行う。 ・視覚的にも理解できるよう、マニュアルや手本、見本を見せ、指示を行う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高 等 部		学 年		1年 2年 3年	
教科等名		作業学習		グループ名		農園芸班	
ねらい		・作業学習に関する事柄を理解し、作業学習に関わる技能を身に付ける。 ・自己の課題を把握し、解決力、実践力、表現力を身に付ける。 ・就労や社会参加に向け、働く態度を養う。					
担当教員		○森脇 光司 大野 隆将 渡辺 拓都					
予定授業時数		普通学級 1年:175 2年:280/322 3年:272/322 重度・重複学級 1年:175 2年:181/223 3年:173/223					
使用教科書							
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫		
通 年	・働く力を身に付けよう		・身辺自立、道具の準備について ・コミュニケーションについて ・作業の技能、態度について ・卓上花の作成、設置	・作業前、休憩後等に自らの身だしなみ、道具等を整えることができる。 ・挨拶、報告、連絡、相談を自発的に行える。周りの人と協力し、作業を行うことができる。自分の担当、役割を確認して、最後まで作業に取り組むことができる。 ・指示を理解し、必要に応じて質問等を行い、作業に取り組める。作業が終わった際に、次の作業を自ら尋ねることができる。 ・花の状態を見極めて収穫し、飾り付け、決められた場所に設置できる。	・教員が手本となり、意識、態度の育成に努める。 ・朝礼に挨拶練習を取り入れ、継続的に取り組んでいく。作業時には報告、連絡、相談のタイミングを設定する。 ・視覚的にも理解できるよう、マニュアルや手本、見本を見せ、指示を行う。		
4	・オリエンテーション ・農園芸班の活動を 知り、体験しよう		・挨拶、身だしなみ、作業のルール	・仕事内容を覚え、作業の見通しをもつことができる。 ・道具の名前や使い方を覚えることができる。	・生徒一人一人の特性に応じた日誌を使用して、仕事の流れを理解できるようにする。		
5 6 7	・春・夏の花を育てよう ・1学期のまとめ		①圃場管理(除草・耕起・播種・育苗・定植・間引き・水やり) ②花の管理(花柄摘み・水やり・定植・撤去)	・作業工程の流れを覚え、農園芸に興味をもつことができる。 ・分かりやすい作業工程で最後まで取り組むことができる。	・写真入りの作業手順書を準備して、一人で作業に取り組めるようにする。 ・見本を近くにおいて、その見本を見ながら同じような製品を完成できるようにする。必要に応じて、タブレット端末で確認を行う。		
9 10 11 12	・秋・冬の花を育てよう ・学習発表会の製品を作ろう ・2学期のまとめ	○	①畑の管理(除草・耕起・播種・育苗・定植・間引き) ②花の管理(花柄摘み・水やり・定植・撤去) ③野菜の管理(水やり、肥料やり、定植、撤去) ④販売する花苗のラベル貼り、ポット磨き、リース作り等学習発表会に向けた準備	・作業工程を理解し、主体的に仕事に取り組むことができる。 ・ルーチンを設定し、見通しをもって仕事ができる。 ・自分で使う道具は自分で用意し、安全に作業を行うことができる。	・タイムキーパーの役割を設定し、作業時間を把握できるようにする。		
1 2 3	・卒業式の花を準備しよう ・1年間のまとめ		①畑の管理(除草・耕起・播種・育苗・定植・間引き・水やり) ②花の管理(花柄摘み・水やり・定植・撤去)	・分業による作業を通して自分の役割を責任をもって最後まで取り組むことができる。 ・ルーチンを設定し、見通しをもって仕事ができる。 ・作業がしやすいように自ら工夫して準備・仕事ができる。			

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	2年 3年
教科等名		作業学習(現場実習)		グループ名	全
ねらい		2年 ・働くことを実感する中で、自分の適性や課題を考える。 ・職場でのルールやマナー、過ごし方を学ぶ。 3年 ・自分のもっている力を知り、適性を考え、進路を決定する。 ・職場でのルールやマナー、社会人としての生活習慣を学び、実践できる力を付ける。			
担当教員		2年:○手塚 秀紀 高垣 淑 小林 加奈子 木村 克久 寺田 直子 森脇 光司 萩野 美咲 渡辺 拓都 池原 萌 五十嵐 亮 3年:○大野 隆将 高柳 彩子 岸田 義文 澁谷 一成 松下 暖乃 奈良 恵理子 榎本 一慶 大平 宏			
予定授業時数		普通学級 2年: 42/322 3年: 42/322 重度・重複学級 2年: 48/223 3年: 48/223			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	2年 現場実習		・職場体験	・職場の雰囲気や、職業生活について知り、卒後の生活へのイメージをもつことができる。 ・職場で働く体験を通して、自己理解を深め、適性や課題、必要な支援を知ることができる。 ・実際の現場で働く経験をし、働く上での基本的なルール、マナー知り、実践できる力を付けることができる。	・事前、事後学習を通して、自己の適性や課題について分析する。 ・家庭や福祉園と連携して、進路指導に反映させる。 ・基本的コミュニケーション、身だしなみ等は、継続した指導を行うことで定着を図る。 ・生徒の実態に応じた環境、作業内容、役割、やり取りなどを設定し、各自が十分に力を発揮できるよう配慮する。 ・タブレット端末を使用し、作業内容の確認や現場実習実習先への理解を深める。
	2年 校内実習	○	・挨拶、返事、報告、連絡、相談の練習 ・正しい身だしなみの整え方 ・職場に必要な態度やマナーについて	・仲間と共同で作業をする際に必要なスキルを身に付けることができる。 ・自他の適性について知り、役割を果たすことで自信をもつことができる。 ・集団で作業をやり遂げる体験を通して、仕事への意欲を高めることができる。	
	3年 I 期現場実習 3年 II 期現場実習		・職場体験	・社会参加への意欲をもち、社会人として、地域で生活することへの意識、関心を高めることができる。 ・進路先を決定するという自覚をもち、自身の課題を意識しながら、主体的に仕事に取り組むことができる。	・事前、事後学習を通して、家庭や寮と連携し、個々の進路先に結び付ける機会とする。 ・挨拶、身だしなみ等の基本的な事柄は、繰り返し継続した指導を行うことで、定着できるようにする。 ・生徒の実態に応じた作業内容やグループを設定し、個々が力を発揮し、達成感を得られるようにする。
	3年 I 期校内実習	○	・挨拶、返事、報告、連絡、相談の方法ややり方 ・正しい身だしなみの整え方 ・社会人として相応しい振る舞い ・職場に必要な態度やマナーについて	・働く上での基本的なマナーやルールを守り、実践することができる。 ・仕事をする上で必要なスキルを身に付けることができる。	・生徒の実態に応じた作業内容やグループを設定し、個々が力を発揮し、達成感を得られるようにする。 ・タブレット端末を使用し、作業内容の確認や現場実習実習先への理解を深める。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。